

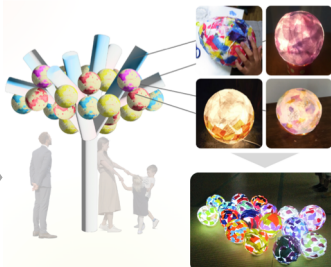


Global Sant Night
病氣と闘う子どもたちとの共創
6/27, 28 18:00-21:00

「病氣と闘う子どもたちに心の動かされる体験を」

そのような思いから、展示では、事前に病氣と闘う子どもたちとのワークショップによって作製したランプシェードが合わさったひとつの作品「ペイフォワードの木」を共創します。また、病氣と闘う子どもたちにエールを届ける音楽セッションを開催します。

事前ワークショップの様子と作成したランプシェード



音楽セッション

【6/27(金)】

第一部：おおさかチルドレンズクワイア カラフル

第二部：大阪チャチャバンド

【6/28(土)】

第一部：舞鶴子どもコーラス

第二部：関西医科大学吹奏楽団のアンサンブル

※当イベントは公益財団法人公益推進協会「For Children基金」による助成事業です。



LASTWORDS
あなたの最期の言葉
6/28 Sat 10:00-12:00

人生最期に遺したい言葉はなんですか？より良い生を生きるために、私達は何をできるだろうか？会場内の展示・少人数でのワークショップを通してWAKAZOは本当に1日1日を大切に生きるために何ができるのかを問います。



i-GIP Voyage
課題解決プレゼン
6/28 Sat 13:00-17:30

i-GIP (inochi Gakusei Innovators Program)はヘルスケア課題解決を目指すため、毎年1つのヘルスケア領域のテーマ(過去テーマ例：ロコモティブシンドローム、睡眠時無呼吸症候群など)を定め、当事者へのヒアリングなどを通して課題を抽出し、その課題を解決するためのアイデア創出プログラムです。イベント当日(企画名：Voyage)には、来場者にも課題解決のプロセスを体験できるようなセッションを行います。各テーマ課題に合わせた当事者をゲストとして呼び、来場者にヒアリングをしてもらい、自らが「この困りごとをなくすためになにができるだろうか」と、課題解決のアイデアの種を持ち、育ててもらいます。

登壇者（代表者のみ掲載）

課題解決のアイデアを社会実装まで進めている中高大学生を中心としたチームが発表を行います。発表する8チームは、過去のi-GIPに参加してくれた中高生・運営メンバーから、選抜を経て選ばれました。



中島花音

滋賀医科大学医学部
「子宮頸がんを予防可能であると中高生が知らないことを全国中高ツアーで解決する」



森暖花

関西大倉高校
「デスクワークの人の腰痛を、一定時間座っていると自動で椅子が傾き、自然に立たされる椅子で解決する」



橋本晃貴

金沢大学医薬保健学域医学類
「災害で失われる命、生まれる悲しみが多いことを、災害から命を守るヒトを能登から育てることとで解決する」



青本梨衣奈

智辯学園和歌山高等学校
「SASを発症しているが治療を受けていない患者が非常に多いことを、スムーズな寝返りの実現で解決する」



山田達也

大阪大学病院
「薬剤耐性菌問題を引き起こす、抗菌薬の不適切な使用を、微生物検査のAI・ロボティクスによる自動化で解決する」



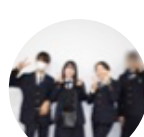
高橋千帆美

国際基督教大学
「服薬の不徹底を、薬局に薬包回収BOXを設置し、コミュニケーションの機会を増やすことにより解決する」



加室翔子

四天王寺高等学校
「ランドセルによる小学生の姿勢悪化を、ランドセルの中の教材を背中側に固定する器具で解決する」



山木戸沙凪

八千代松陰高校
「SASに対するCPAP治療中の髪トラブルを、へあびたで髪を固定することで解決する」

< 本件に関するお問い合わせ先 >

一般社団法人inochi未来プロジェクト / inochi WAKAZO Project HP <https://inochi-payitforward.com/>

一般お問い合わせ: info@inochi-wakazo.org

取材に関するお問い合わせ: いのちペイフォワードPR事務局(サニーサイドアップ内): inochi@ssu.co.jp

担当: 鎌崎(くわさき)080-4652-1575 池嶋: 080-4753-7933